

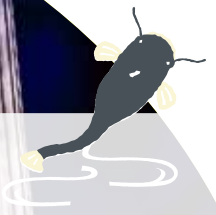
リニューアルがついに完了!

かんりょう

長い間
お待たせ
しました!

グランドオープン

リニューアルされた
「A展示室」と「B展示室」で、
「湖と人間」の未来を
考えてみよう。



B 展示室

湖の2万年と私たち
～自然と暮らしの歴史～

ナビゲーターである「龍」とともに、「森」「水辺」「湖」「里」を舞台に、人が自然とどう向き合ってきたのかをたどります。

琵琶湖を中心とした環境史を通して、今の私たちの暮らし(C展示室)にどうつながっているのかを伝える展示です。のどかな「里山」のイメージとは違う一面が浮かび上がってくるかもしれません。

入り口で来館者を迎える巨大な「龍」は、ペットボトルを利用した作品

「龍」に導かれて、湖を含めた自然と人の暮らしの移り変わりをたどります。森で暮らしていた縄文時代からスタートして、生活の場を水辺へと広げ、里をつくり森を切り拓く過程で、自然と人間の関係はどうだったのか、みんなで考えてみましょう。

主任学芸員(民俗学)
わたなべ けいいち
渡部 圭一さん



人と自然の関わりを模型や実物の資料でわかりやすく解説! 昔の生活に思いを馳せてみよう!



全長17メートル! 間近で「丸船」の大きさを体感し、AR(拡張現実)で湖面を帆走する姿を見てみよう!

6年にわたるリニュー

琵琶湖博物館



LAKE BIWA MUSEUM

6年の歳月をかけて大規模なリニューアルを進めてきた琵琶湖博物館が、10月10日、ついにグランドオープンしました。今号は、生まれ変わったA・B展示室をはじめ、3期に分けて行われたリニューアルの全容をご紹介します。琵琶湖の様々なおもしろさに触れられる博物館は、何度訪れても新たな発見が待っています。みんなでおでかけしてみませんか？

A 展示室

湖の400万年と私たち ～変わり続ける琵琶湖～

湖誕生からの400万年の間に、大地や自然、気候など、湖をめぐる環境は変化し続け、湖周辺の生き物も変化してきました。その過程を、地層の標本や化石、過去の環境を体感できるコーナーなどで紹介しています。

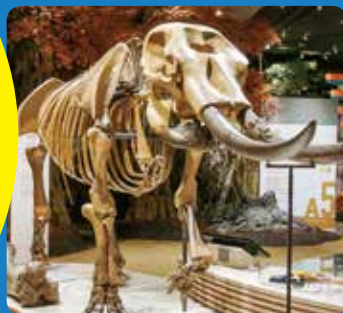
巨大なツダンスキーゾウの骨格標本は、半身を生体復元。当時の姿をよりリアルに感じられるようになりました。

現生人類が地球上に登場するよりはるか以前のおよそ400万年前、琵琶湖は今とは違うところがありました。現在の琵琶湖になるまでの長い時間の中で、大地がどう変化し、どんな生き物が湖のまわりに生息し、入れ替わってきたのかを、ぜひ体感してください。

統括学芸員(地質学)
里口 保文さん

高さ約4m

ツダンスキーゾウの半身を生体復元。裏に回って骨格と見比べてみよう



180万年前に琵琶湖畔に生息していたアケボノゾウの全身の骨格化石を、最新の研究にもとづいて復元



琵琶湖から水と土砂を取り除くと琵琶湖の湖底にある山や谷を見ることができる模型が登場!

発見を楽しむ。 体感できる博物館へ！

進化した博物館
をぜひ見に来て
ください！



専門学芸員
(環境保全復元学)
なかい かつき
中井 克樹さん



第2期は「交流空間」をリニューアル 誰もが楽しめる空間へ。

ディスカバリールーム



子どもと大人が一緒に楽しむ体験と発見の場

「博物館の入り口」として、五感で学び発見することのできる体験型の空間です。ザリガニになってみたり、本物の化石をさわって確かめたりすることができます。



おとなのディスカバリー



探究心を刺激する知的空間

2018年オープンの落ち着いたおとなのディスカバリーでは、たくさんの昆虫をはじめとする動植物や、鉱物・化石などの標本を、じっくり調べ、観察することができます。

ミュージアム
レストラン・ショップも
リニューアルしました！



屋外展示

身近な自然を 観察してみよう

屋内展示の後には、屋外へ出てみましょう。ゾウのいた約180万年前の森を再現した「太古の森」や「縄文弥生の森」などがあります。木々の梢を巡る「樹冠トレイル」は、琵琶湖の眺望がすばらしい人気スポットです。



生活実験工房



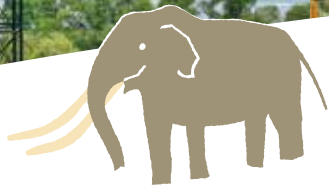
樹冠トレイル

樹冠トレイルを歩けば、
広大な琵琶湖の風景や、
森の動植物を目の前で
観察することができます。

琵琶湖博物館では、感染対策のため入館制限を行っております。ご来館される場合は、事前にホームページからオンラインで予約してください。他にも、感染拡大予防のためにいくつかの制限やお願いをしています。詳しくは、琵琶湖博物館のホームページをご確認ください。 <https://www.biwahaku.jp/>



新型コロナウイルス感染症の影響により、内容の変更や外出自粛のお願い等をしている場合があります。ホームページ等で最新の情報をご確認ください。



五感で感じる、 びわ湖の魅力みりょくを丸ごと

第1期として「C展示室」と「水族展示室」からリニューアルスタート。

C展示室

湖のいまと私たち ～暮らしとつながる自然～

湖岸から田んぼ、山、そして現代の暮らしへと続く展示をたどると、琵琶湖と今の私たちの暮らしの結び付きが見えてきます。生物を育み、水を浄化するヨシ原の働きや、田んぼが「魚のゆりかご」と呼ばれる理由、植林が手入れされず荒れた山の問題などを、ジオラマや生き物の展示などで楽しく学べます。



生き物コレクション

水族展示室

湖のいまと私たち ～水の生き物と暮らし～

淡水生物の展示としては国内最大級！約2,000平方メートルの展示空間に、琵琶湖とその周辺の様々な環境にすむ生き物を展示しています。リニューアルで登場した、古代湖コーナーのバイカルアザラシや、肉眼ではほとんど見えない琵琶湖の小さな生き物の世界を紹介するマイクロアクアリウムも見逃せません。



トンネル水槽

琵琶湖博物館は、びわ湖のすべてを感じるミュージアム



母なる湖・
びわ湖



びわ湖と人に
出会う



五感で感じる、
発見を楽しむ



使う・集う
博物館



湖と人間の未来を
ともに考える

琵琶湖博物館 館長 たかはし けいち 高橋 啓一さん

開館してから24年の蓄積として、学芸員の調査研究だけでなく、地域の方と一緒にやってきた活動を通して、たくさんの資料が集まりました。地域全体の力で、さらに魅力ある博物館に生まれ変わることができたのです。ここで琵琶湖のおもしろさを発見したら、次は自分の身のまわりに目を向けてみてください。これまで気づかなかったおもしろいものいろいろ見えてくると思います。

さあ！数えきれない発見に出会いに行こう！

お問合せ 滋賀県立琵琶湖博物館 TEL 077-568-4811 FAX 077-568-4850 HP <https://www.biwahaku.jp/>